

北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業2023

北東アジア地域の青少年を対象に、環境問題に関する意見交換や環境保全活動を通じて相互の友好と理解を促進し、グローバルな視点で地域の環境保全に取り組む人材を育成することを目的に実施した。

1 実施日時

2023年8月10日(木) 10:00～17:00

2 実施方法

オンライン形式 (Zoom)

3 主催等

- ・ 主催：遼寧省（中国）、富山県
- ・ 主管：公益財団法人環日本海環境協力センター

4 参加者

北東アジア地域の中高生51名（5か国10自治体）

- ・ 中 国：5名（遼寧省5名）
- ・ 日 本：9名（山形県5名、富山県4名）
- ・ 韓 国：10名（忠清南道5名、江原道5名）
- ・ モンゴル：5名（ドンドゴビ県5名）
- ・ ロシア：22名（アルタイ地方5名、沿海地方7名、ハバロフスク地方5名、
トムスク州5名）

5 テーマ

水環境を守るために何ができるか

6 内容

※ [配布資料一式はこちら](#)

※ [ダイジェスト動画はこちら](#)

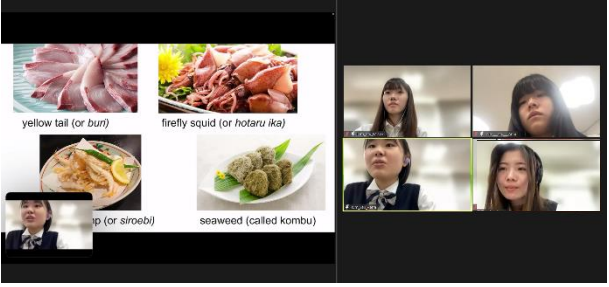
(1) 開会挨拶

遼寧省 生態環境庁 副庁長 タオ・バオク 氏



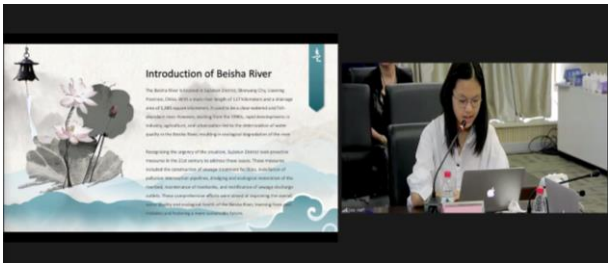
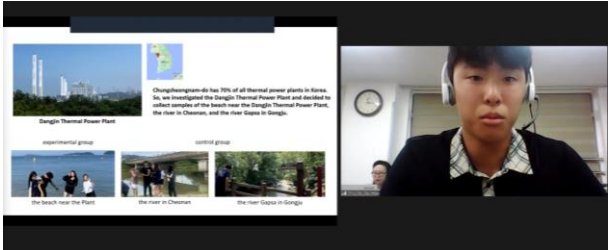
(2) 文化交流

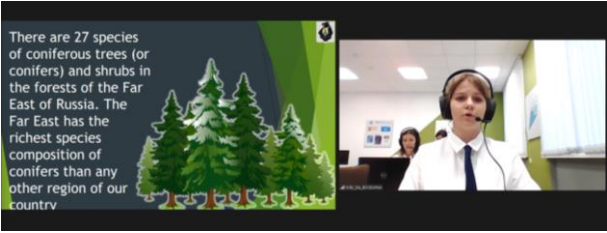
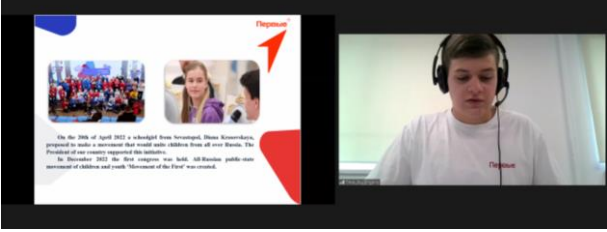
それぞれの地域の文化や風土を発表し、相互理解を深めた。

自治体・紹介内容概要	タイトル
富山県 ※富山国際大学付属高校 富山県の豊かな自然環境、食文化、歴史、景勝地（立山・黒部）等の風土及び同校ユネスコ部で実施している海岸清掃活動等について紹介	Introduction of Toyama and our club activity 
江原道（韓） 江原道チョンソン郡（旌善郡）の郷土料理とそのレシピ、伝統芸能であるアリランの起源、映画ロケ地や古代遺跡等の景勝地、祭について紹介	Beautiful Jeongseon! Let me introduce Jeongseon 
ドンドゴビ県（蒙） Tsagaan Suvraga（白い仏塔）と呼ばれる峡谷や花崗岩地帯、オンギ（Ongi）僧院の遺跡、砂漠地帯等の雄大な景観のほか、芸術文化祭について紹介	TOURIST ATTRACTIONS AND TRADITIONAL FESTIVAL 
アルタイ地方（露） シベリア穀倉地帯と呼ばれるに至った19世紀の移民の歴史のほか、金属精錬工業、農業（酪農、養蜂等）などの産業について紹介	Altai Region, Russia 

(3) **活動発表**(各自治体のタイトルをクリックすると資料が表示されます。)

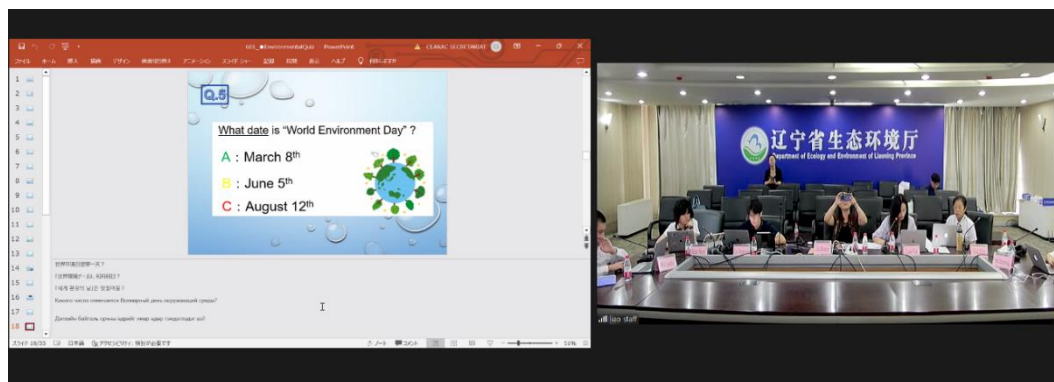
各自治体において参加生徒が実施している環境保全活動の内容を発表するとともに、意見交換を行った。

自治体・活動概要	タイトル
遼寧省（中） ベイシャ（Beisha）川を保全するため、学生ボランティア等が実施した水質調査、地域住民への啓発活動、清掃活動等の内容について紹介	Protecting Beisha River 
山形県 海岸漂着物が問題となっている宮海（Miyaumi）海岸において生徒が実施している海岸清掃活動のほか、薬剤耐性菌の調査結果等について紹介	Sakata Higashi High School Activity 
忠清南道（韓） 韓国国内の火力発電所の7割が集中する忠清南道において実施した発電所付近の海域・河川の水質調査と周辺住民への意識調査の結果について紹介	Correlation between thermal power plants and water pollution 
沿海地方（露） 陸域と海域の生態系に重要な役割を果たす海岸は現在廃棄物での汚染が懸念されている。この影響を調べるため、継続的に海岸生物調査を実施しており、その結果について紹介	Monitoring of Common Plant and Animal Species in the Shallow Littoral Zone 

ハバロフスク地方（露） ロシア極東エリアは二酸化炭素の吸収源として重要な役割を有する針葉樹の種類が豊かであり、様々な針葉樹の葉の構造を調べた結果について紹介	To learn about conifers that widely distributed in the Far East of Russia, the conifer needle external and internal structure 
トムスク州（露） セヴェルスク（Seversk）市の青少年が中心となり、オビ（Obi）川や湖沼群等の水資源を保全するために実施している河川敷清掃活動等について紹介	Cleaning of bodies of water from garbage. Environmental protection 

(4) 環境クイズ

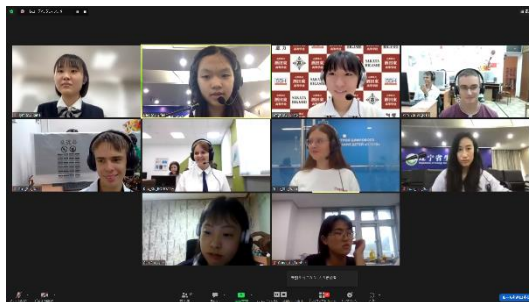
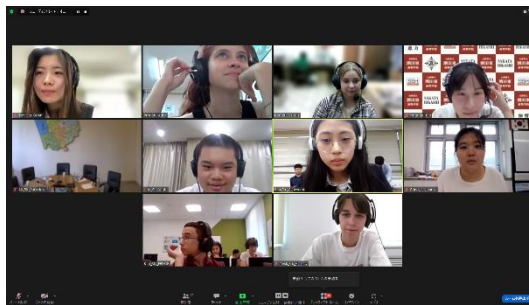
環境保全に関するクイズを通して、楽しみながら環境保全について学ぶとともに、参加者同士の交流を図った。



		Environmental Quiz, Answer Format							
Nation	Municipality	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8
China	Liaoning	B	A						
	Yamagata	B	A						
Japan	Toiyama	B	A	3					
	Gangwon	B	A						
Korea	Chungchongnam	B	A						
	Dundgovi	B	A						
Mongolia	Altai	B	A						
	Primorsky	C	A						
Russia	Khabarovsk	B	A						
	M. Totsk	B	A						

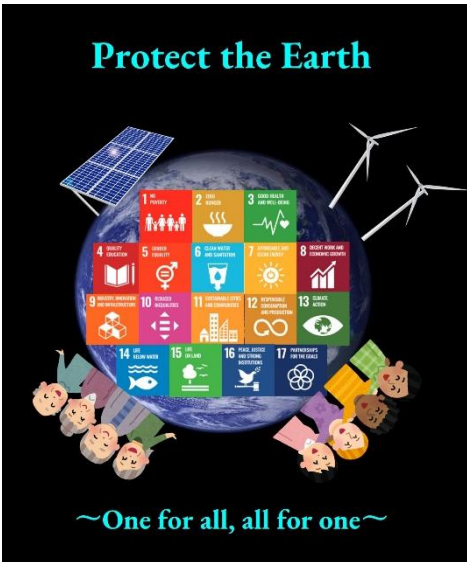
(5) 自由交流

少人数のグループに分かれて、プログラム全体を通じた質疑応答、意見交換、異文化交流などの自由交流を行った。



(6) 体験活動

「私たちが目指す2050年のあるべき社会・姿」をテーマに、自治体ごとにウェブ上でポスターを制作した。

自治体	作品及び制作意図
遼寧省（中）	『Water protection in 2050』  2050年の海の環境を守る仕組みの理想形を描いた。未来では、高い技術と政策と人々の意識・ライフスタイルが一体となって、海の環境を守っている。
山形県	『Let's walk free and barefoot! ~remove all garbage from the coast of the world~』  ごみのない海岸を裸足で自由に歩く。そんな未来のために3Rを！
富山県	『Protect the Earth ~One for all, all for one~』  2050年にはSDGsが達成されていると願いを込めて。その世界はサステナブルでピースフル。そんな未来のために、一人は皆のために責任を果たし、皆は皆で助け合う。地球を守るために。

江原道（韓）

『Clean Energy for a Sustainable Future』



再生可能エネルギー・クリーンエネルギーを、鮮明な色を使ってシンプルにかつ強くクリーンエネルギーを表現し、見た人のクリーンエネルギーへの関心を高めたい。地球環境保護にはサステナブルなエネルギーチョイスが必要である。

忠清南道
（韓）

『Step by step』



未来の理想的な社会を背景にメタンの分子構造をモチーフにした。中央には2050年に向けて、未来に続く緑の道、黄色い花とともに歩む子どもをシンボリックに描いた。Step by Stepで始めよう。

ドンドゴビ県
（蒙）

『Which would you choose? It's up to you!』



2050年に向けてどちらの道に行くか。私たちは毎日の生活で、選択を繰り返し、その先に未来がある。SDGsな選択をしなければどうなるか？ すべてはあなた次第、私たち次第。

アルタイ地方
(露)

『Bring ⇒ Get』



2050年のエコフレンドリーな社会では、環境を守るために、「自動ごみ回収機」がある。ごみを持ちこむと「モチベーションボーナス」として賞品が得られる。

沿海地方
(露)

『2050』



2050年の世界は、環境が安定してバランスがとれていて、人々もそれぞれに責任を自覚し、環境保護への意識がとても高い—そんな未来への思いを込めた。

ハバロフスク
地方 (露)

『 THE KEY TO SUCCESSFUL FUTURE IS TO VALUE THE NATURE』



人間は自然を良くも悪くも利用して進化、発展をしてきた。これ以上、人間の勝手
で自然を搾取してはいけない。環境が死ねば人間も死ぬ。環境保全は私たち
の共通のゴール。

トムスク州
(露)

『SOCIETY OF CONSCIOUS CONSUMPTION』



自然や資源を利用する態度を見直そう。2050年は制度や技術、人の意識が
つながって環境負荷の少ない社会となっている。地球の未来は私たちの行動にか
かっている。

(7) 環境宣言

参加者代表（遼寧省生徒）が「環境宣言文」を発表した。

北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業2023 環境宣言文

我々は中国、日本、韓国、ロシア、モンゴルの5か国10自治体の代表として
2023年北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業に参加しました。

このイベントにおいて、私たちは環境保全のための活動及び各地域の風土・
文化を紹介しました。

「水環境を守るために何ができるか」というテーマのもと、情報共有や意見
交換を行いました。

「私たちが目指す2050年のあるべき社会・姿」をテーマとするポスター協働
制作を通じて、私たちは水環境保全が将来に与える影響を深く理解し、地球
環境を守る責任を次代に引き継ぐ必要性を認識しました。

また、意見交換を通じて、私たちは知識を増やし、視野を広げ、水環境の
保全において青少年が不可欠な役割を果たしていることに気付きました。

さらに、私たちは、水は循環しており、水の生態系は切り離すことができな
いものであることも分かりました。水環境を保全するため、私たちは協力して
行動する必要があります。

私たちは、環境保全と社会貢献活動に積極的に参加し、周辺地域、北東アジ
ア地域、さらに遠方の地域に住む人々に環境保全の意義を伝え、その意識を
高めていくことをここに宣言します。

私たちは、共通の目標をもつ仲間であり、母なる地球を守るために協力しま
しょう。

私たちの友情が永遠に続きますように。

2023年8月10日

北東アジア青少年環境活動リーダー育成事業参加者一同

(8) 閉会挨拶

富山県生活環境文化部参事 中島 浩薫

